

■一般目標（GIO）

歯に生じる硬組織疾患の概要を理解するために、疾患の治療の進め方の基本を修得する。

■到達目標（SBOs）

- ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症，咬耗，摩耗等），歯の変色，象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。
- ②齲蝕およびその他の歯の硬組織疾患（tooth wear，生活歯の変色，象牙質知覚過敏症を含む）の症状，検査法，診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。
- ③Minimal Intervention Dentistry <MID>に基づく歯科治療の意義，臨牀的対応を説明できる。
- ④修復材料とその取扱い，修復法の適応を説明できる。
- ⑤修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- ⑦仮封の意義，種類および特徴を説明できる。
- ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。

■教科書：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）

■参考書：1 保存修復学 第7版（医歯薬出版）

2 保存クリニカルガイド（医歯薬出版）

■授業時間：火曜日 9：00～9：50，10：00～10：50

■オフィスアワー：柴崎 翔([shibazaki.shou@nihon-u.ac.jp](mailto:shibazaki.shou@nihon-u.ac.jp))

火曜日 17：00～18：00

■授業の方法：スライドを使用し，適宜プリントを配布する。

■準備学習・ 事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。

準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験（100 %）を基本とする。

■注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。

■実務経験：柴崎 翔：現在，日本大学歯学部保存学教室修復学講座に在籍しており，保存治療を専門に行なっているところから，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 10月3日 柴崎 翔	1. 保存修復学総論 1) 保存修復学とは 2) 修復法の種類	・ 保存修復の概念および修復法の種類を理解する。 ・ 保存修復処置の対象となる疾

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	3) 疾患の種類と原因 4) 診査方法 (教) pp. 2-25 pp. 31-33	患およびその診査法を理解する。 ・ 齲蝕の病態，分類を理解する。
第3・4回 10月10日 柴崎 翔	2. 修復治療の流れ 1) 修復治療の概要と処置ステップ 2) 前準備処置 3) 硬組織切削器具 4) 歯髄の保護 (教) pp. 29-45	・ 硬組織疾患の特徴をふまえた修復治療の流れを理解する。 ・ 前準備処置を理解する。 ・ 硬組織切削器具を理解する。 ・ 保存修復治療における歯髄保護について理解する。
第5・6回 10月17日 柴崎 翔	3. 鑄造修復法 1) 特徴と適応症 2) 窩洞の分類，名称，構成要素 3) メタルインレー窩洞の特徴 4) 修復の手順および製作法 5) 合着材 (教) pp. 25-29 pp. 79-86	・ 間接法修復として，鑄造修復の特徴および適応症を理解する。 ・ 窩洞の分類，名称および構成要素を理解する。 ・ メタルインレー窩洞の特徴および具備すべき条件を理解する。 ・ メタルインレー修復の一般的手順を理解する。 ・ 合着用セメントの所要性質およびその種類，組成，特徴を理解する。
第7・8回 10月24日 柴崎 翔	4. コンポジットレジン修復 1) 特徴と適応症 2) 種類と組成 3) 歯質接着の基礎 4) 必要な器材 (教) pp. 46-61	・ 直接法修復として，コンポジットレジン修復の特徴および適応症を理解する。 ・ コンポジットレジン修復時の窩洞の特徴を理解する。 ・ コンポジットレジンの種類および組成を理解する。 ・ コンポジットレジン修復における歯質接着システムを理解する。 ・ コンポジットレジン修復時に必要な器材を理解する。
第9・10回 10月31日 柴崎 翔	4. コンポジットレジン修復 5) 修復の手順 5. グラスアイオマーセメント修復 1) 特徴と適応症	・ コンポジットレジン修復の一般的術式を理解する。 ・ 直接法修復として，グラスアイオマーセメント修復の特徴および適応症を理解する。 ・ グラスアイオマーセメントの種類および

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	2)種類と組成 3)修復の手順 (教) pp. 46-70	組成を理解する。 ・ガラスイオノマーセメント修復の一般的術式を理解する。